

## 美原区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
第24回(令和元年度)みはら芸術展		みはら芸術展実行委員会			
事業目的	事業効果	活動指標	H29	H30	R1
美原区域の住民・団体の協働による事業を通じて、地域コミュニティの活性化と自主的な魅力あるまちづくり意識の高揚を図る。また、住民に芸術文化に触れる機会を設け、この芸術文化活動の交流の場を通して、住民の芸術文化に対する意識の高揚を図ることで心豊かな市民生活を伸長する。	区域住民自らが企画・運営、参加することにより、区域の一層の親睦、連帯、交流を深め、明るく、住みよい、活気と愛着あるまちづくりを推進するとともに、住民が主体的に行うまちづくりのための人材育成が期待できる。また、芸術文化の発展を支える幅広い人材育成と文化的で豊かな住民生活を推進することができる。	①出展数 (小中学生作品展)  ②来場者数 (小中学生作品展)	144点 (1,111点)	149点 (1,208点)	158点 (1,154点)
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
○ 行政と区民が、協働で本事業を実施することにより、区民の芸術文化に対する意識を高めることや、地域の幅広い世代の交流の場となることができた。	◎ 本実行委員会は、区内を中心に活動する芸術の愛好家で構成され、本展の企画・運営を行っている。その結果、区域の芸術・文化活動の振興に加え、地域コミュニティの活性化を図ることができ、協働して事業を実施することができた。	○ 造形部門の新設により、今までとは違った作品が展示されることで、新鮮味が加わった。アンケート結果で人気を集めた作品を、区役所や図書館に展示することで、区民が芸術文化にふれる機会を増やすことができた。	○	○ 出展者に費用負担をしてもらい、運営に必要な費用の一部を充当している。周知の方法の一つとして、区民である実行委員自ら積極的にチラシの配布やポスターの掲示を行った。また、各自治会に、校区を通じてチラシの配布依頼をすることで、多くの区民に事業を周知することができた。	
⑤自立発展性	総合評価				
— 本事業は、行政と区民の協働であり、区民である実行委員には、積極的な活動や取り組みの促進を図っている。	○ 事前準備や当日運営は、実行委員やボランティアスタッフ、事務局が互いに連携を取ることで、円滑に進めることができた。今年度より造形部門を新設したことで、幅広い種類の作品を展示した。また、6階展望ロビーでは、古墳型画用紙に小学生の自由な発想で描いた絵を展示し、多くの来場者を魅了した。1階の風の広場では、中学生の作品展示のほか、ハニワ作りのワークショップを開催し、見るだけでなく、作品を作って楽しんでいただくことができた。会場内で実施したアンケートについては、おおむね高評価であった。				
今後の方向性(課題、改善提案等)					
拡充 継続 見直し 廃止	来場者数は、ここ数年横ばいのため、より多くの方に作品を見に来ていただけるように、展示方法・内容の工夫、PR方法等の検討が必要となる。				